

MOUSA 1

ムーサ

平成29年度 高等学校教科書 音楽 I

27教芸 (平成29教 内容解説資料)



目次	MOUSAについて	2	鑑賞	11
	紙面構成	3	資料	14
	歌唱	4	年間指導計画例	16
	器楽	8	指導書について	18
	創作	10	検討の観点別に見た特色	19

歌唱

多感な時期にある生徒たちが楽しく幅広く音楽を学習することができるよう教材を精選し、提示の仕方を工夫しながら、ポピュラー・ソング、唱歌、芸術歌曲、合唱曲、ミュージカル・ナンバー、オペラ・アリアなどを取り上げました。特に、日本で長い間歌い継がれてきた曲を豊富に取りそろえ、また伝統音楽の歌唱にも取り組めるよう能の謡を収録しました。

発声

明確な目的をもって行えるヴォイス・トレーニングのEXERCISEを、《Ave Maria》をはじめとする歌唱教材に生かすことができるようにしました。1年を通して活用できるページになっています。

《Ave Maria》は、基本的な発声法を身に付けるのに最適な教材です。

ヴォイス・トレーニング —正しい発声や呼吸、発声法を身に付けよう

EXERCISE 1 歌う前の準備

姿勢と呼吸

- 下唇を突き出し、顔の中心から上へ伸びるような姿勢をとり、背骨がまっすぐに伸びるよう意識しよう。
- 肩が下がらないよう、肩甲骨も意識して、胸の奥に手を置くように意識しよう。
- 呼吸を止めないで、一定の長さで長く息を吐く。

発声

- 喉を閉じ、口の中（舌の裏）や鼻の奥（鼻の中）の奥に息を溜めよう。
- 息を吐くとき、喉を閉じ、声帯が振動するよう意識しよう。

EXERCISE 2 発声練習

歌う前に、姿勢と呼吸の練習をしよう。そして、豊かな発声を目指して発声練習に取り組もう。その際、以下の①～④のようにそれぞれ具体的な目的をもって行うと効果的である。

① 息を吐くとき、喉を閉じ、口の中（舌の裏）や鼻の奥（鼻の中）の奥に息を溜めよう。

② 息を吐くとき、喉を閉じ、声帯が振動するよう意識しよう。

③ 息を吐くとき、喉を閉じ、声帯が振動するよう意識しよう。

④ 息を吐くとき、喉を閉じ、声帯が振動するよう意識しよう。

歌う際のポイントを楽譜中に色文字で挿入

心の歌

歌い継いでいきたい日本の歌を「心の歌」と題し、四季折々の美しい自然が感じられる曲を取りそろえました。各曲とも縦書き歌詞を掲載しています。

斉唱、同声合唱、混声合唱など、さまざまな曲態で楽しめます。

心の歌

花 (J. 96-08)

夏の思い出 (J. 96-09)

故郷 (J. 96-10)

虫のこえ (J. 96-11)

冬景色 (J. 96-12)

ぼくはぼく (J. 96-13)

序曲 (J. 96-14)

ポピュラー・ソング

広く親しまれている《翼をください》《少年時代》《見上げてごらん夜の星を》などの他に、生徒の心に響くポピュラー・ソングを新たに4曲加えました。

4曲とも幅広い支持を得ている曲で、学年始めの雰囲気作りに最適です。

ふるさと (J. 96-15)

ひまわりの約束 (J. 96-16)

レット・イット・ゴー～ありのままで (J. 96-17)

デイ・ドリーム・ビリーバー (J. 96-18)

合唱、ヴォイス・アンサンブル

人気の高い《願い》(同三)、《夢みたものは……》(混四)に加え、三宅悠太氏の作曲した《ぼくはぼく》(混三)を新たに収録しました。また、ゲーム・ソフト「ドラゴンクエスト」シリーズでおなじみの《序曲》をヴォイス・アンサンブルで楽しめます。

伴奏譜付きで、縦書き歌詞も掲載しています。

ぼくはぼく (J. 96-19)

序曲 (J. 96-20)

日本の歌曲

山田耕柞の代表曲《この道》の他に、武満徹の《小さな空》と中田喜直の《むこうむこう》を新たに収録しました。各曲とも縦書き歌詞と伴奏譜を掲載しています。

新たに編曲した伴奏も魅力の一つです。

Musical score for 'この道' (This Road) and 'むこうむこう' (Mukoumukou). Includes piano accompaniment and vertical Japanese lyrics. Page numbers (P.82-83), (P.84-85), (P.86) are visible.

詩の内容を豊かに表現し、美しい日本語で歌うためのポイントを示したコラム

外国の歌曲

イタリア語とドイツ語の歌曲は定番曲を取りそろえました。日本語歌詞と原語歌詞の他、原語歌詞の意味も掲載しています。

Collage of foreign song sheets including 'O sole mio', 'Heidenröslein', 'Caro mio ben', and 'Ich liebe dich'. Includes Japanese lyrics and musical notation. Page numbers (P.17), (P.18~19), (P.58-59), (P.60~61) are visible.

歌唱教材の大解剖

新企画として、《Caro mio ben》の魅力を探り、表現を深めるための大解剖ページを掲載しました。根拠をもって曲の解釈などを行い、それらを表現に生かして歌う道筋を示しています。「アクティブ・ラーニング(主体的な学び)」の本質に触れることができます。

生徒と先生の会話によって、発見の内容が膨らんでいきます。

日本の伝統的な歌唱

伴奏がなくても取り組めるような能の「謡」を取り上げました。謡い方を体験し、日本の伝統音楽への理解を深めることができます。

Instructional page for '謡' (Nami) featuring '強吟(剛吟)で謡おう' and '弱吟(和吟)で謡おう'. Includes musical notation, text explanations, and a '謡本' (Nami book) example. Page numbers (P.112-113) are visible.

謡い方のイメージを表した絵譜

実際の謡の楽譜の例

Detailed analysis of 'Caro mio ben' with numbered callouts (1-18) explaining musical features and performance techniques. Includes musical notation and explanatory text. Page numbers (P.20-21) are visible.

器楽

楽器や奏法の説明と実際に演奏する曲の楽譜を見開きページで掲載し、常に確認しながら演奏できるような紙面構成にしました。また、ボディ・パーカッション、チャイムなどグループ活動によって協働しながら学習を進めることができる教材や、さまざまな楽器編成によるアンサンブル教材など、バラエティー豊かな曲を取りそろえました。

リコーダー

各学校や生徒の実態を考慮し、ソプラノとアルトのどちらでも演奏できる曲や、アルトの二重奏でもソプラノとアルトによる二重奏でも演奏が可能な曲などを収録しました。

運指表と基礎的な奏法の説明を、見開きで見やすく示しています。

リコーダーの運指表

●タンギング
舌の先で音を出し、舌の裏で音を止めます。舌の裏で音を止める時は、舌の先で音を出したまま、舌の裏で音を止めます。

●左手の握りかた
左手の握りかたは、右手の握りかたと同じように握ります。左手の握りかたは、右手の握りかたと同じように握ります。

●アーティキュレーション
アーティキュレーションは、音のつながりをよくするために重要な要素です。アーティキュレーションは、音のつながりをよくするために重要な要素です。

●ボレロ
Moderato
ソプラノ/アルト

●C-a-f-f-e
カル・フォルテ/ソプラノ/アルト

(P.34-35)

リコーダーとギターによるアンサンブルも楽しめます。

ザナルカンドにて
ソプラノ/アルト

●ギター
ギターは、リコーダーとアンサンブルするための重要な楽器です。ギターは、リコーダーとアンサンブルするための重要な楽器です。

(P.36)

和楽器

各学校の実態に応じてさまざまな選択ができるように、太鼓、篠笛、三線、三味線、箏の5種類の和楽器を取り上げました。楽器や奏法の説明と演奏する曲をそれぞれ見開きに収めています。

(P.70) (P.72)

●太鼓
太鼓は、日本の伝統的な楽器です。太鼓は、日本の伝統的な楽器です。

●篠笛
篠笛は、日本の伝統的な楽器です。篠笛は、日本の伝統的な楽器です。

●三線
三線は、日本の伝統的な楽器です。三線は、日本の伝統的な楽器です。

●三味線
三味線は、日本の伝統的な楽器です。三味線は、日本の伝統的な楽器です。

●箏
箏は、日本の伝統的な楽器です。箏は、日本の伝統的な楽器です。

●安夜節
安夜節は、日本の伝統的な祭りです。安夜節は、日本の伝統的な祭りです。

(P.74)

(P.76)

演奏する際に楽譜が安定するよう、和楽器は真ん中辺りのページ(P.70~79)にまとめています。

《さくら》変奏曲
箏

●初段で使われる奏法
初段で使われる奏法は、演奏の基礎となる重要な要素です。初段で使われる奏法は、演奏の基礎となる重要な要素です。

(P.78-79)

演奏の便宜を図った縦書き譜

ギター

「基礎編」「アルペジオ編」「ストローク編」に加え、メロディーと伴奏(和音と低音)に分かれてアンサンブルを楽しむことができる「アンサンブル編」を新たに収録しました。各ステップにおいて、楽器や奏法の説明と演奏する曲をそれぞれ見開きに収めています。

Let's play the GUITAR

●基礎編
基礎編は、ギターの基本的な演奏方法を学ぶための重要な要素です。基礎編は、ギターの基本的な演奏方法を学ぶための重要な要素です。

●アルペジオ編
アルペジオ編は、アルペジオ奏法の基本的な演奏方法を学ぶための重要な要素です。アルペジオ編は、アルペジオ奏法の基本的な演奏方法を学ぶための重要な要素です。

●ストローク編
ストローク編は、ストローク奏法の基本的な演奏方法を学ぶための重要な要素です。ストローク編は、ストローク奏法の基本的な演奏方法を学ぶための重要な要素です。

●アンサンブル編
アンサンブル編は、アンサンブル演奏の基本的な演奏方法を学ぶための重要な要素です。アンサンブル編は、アンサンブル演奏の基本的な演奏方法を学ぶための重要な要素です。

●第三の男のテーマ
第三の男のテーマは、アンサンブル演奏のための重要な要素です。第三の男のテーマは、アンサンブル演奏のための重要な要素です。

(P.40-41/44-45/46-47)

《第三の男のテーマ》のメロディーは、第1弦以外ほとんど用いずに演奏することができます。また使用する和音は2種類なので、とても取り組みやすい教材です。

掲載曲の一部を取り出してポイントを明示

写真を使って奏法を丁寧に解説

その他

ボディ・パーカッションやチャイムのアンサンブルでは、演奏する際の注意点や工夫例などを示し、グループで楽しみながら表現を深められるようにしました。

Plymouth Rock
ボディ・パーカッション

●ボディ・パーカッションを楽しむ
ボディ・パーカッションは、演奏の楽しさを深めるための重要な要素です。ボディ・パーカッションは、演奏の楽しさを深めるための重要な要素です。

●星に願いを
星に願いをは、アンサンブル演奏のための重要な要素です。星に願いをは、アンサンブル演奏のための重要な要素です。

●チャイムでアンサンブルを楽しむ
チャイムは、アンサンブル演奏のための重要な要素です。チャイムは、アンサンブル演奏のための重要な要素です。

(P.10-11)

(P.26-27)

楽器を用いないボディ・パーカッションや音を出しやすいチャイムは、気軽に取り組みることができます。また、曲としての魅力にもこだわって選曲しています。

創作

表現したいイメージを着実に形にしていけるように、豊富な例を取り入れながら簡潔かつ丁寧に手順を追って示しました。また、歌唱や器楽教材と関連をもたせ、創作に取りかかりやすくすると同時に表現を深められるようにしました。

虫のこえ

(P.26)

(P.66)

《虫のこえ》の歌詞をヒントに、オノマトペを音素材に用いてリズムづくりに取り組みます。また、手順を踏んでそれを発展させているので、アンサンブルづくりにも無理なく取り組みます。

創作3 オノマトペでリズムをつくらう

オノマトペとは、日本語の音韻的要素をリズムづくりに活用する手法です。虫のこえの歌詞をヒントに、オノマトペを音素材に用いてリズムづくりに取り組みます。

- オノマトペを音素材にする。
- オノマトペをリズムにする。
- オノマトペをリズムにする。
- オノマトペをリズムにする。
- オノマトペをリズムにする。

《星に願いを》のメロディーを用いて、変奏と編曲に取り組みます。

創作1 メロディーの雰囲気を変化させよう

創作2 演奏スタイルを変化させよう

星に願いをのメロディーを用いて、変奏と編曲に取り組みます。

- メロディーの雰囲気を変化させる。
- 演奏スタイルを変化させる。

(P.28・29)

創作4 オノマトペでアンサンブルをつくらう

グループ活動に最適

オノマトペを用いたアンサンブルの作り方を紹介します。

- オノマトペを用いたアンサンブルの作り方を紹介します。
- オノマトペを用いたアンサンブルの作り方を紹介します。
- オノマトペを用いたアンサンブルの作り方を紹介します。
- オノマトペを用いたアンサンブルの作り方を紹介します。

創作5 音階を選んで旋律をつくらう

音階を選んで旋律をつくらう方法を紹介します。

- 音階を選んで旋律をつくらう方法を紹介します。
- 音階を選んで旋律をつくらう方法を紹介します。
- 音階を選んで旋律をつくらう方法を紹介します。
- 音階を選んで旋律をつくらう方法を紹介します。

和楽器を学んだ後に、日本の音階を用いた旋律づくりに取り組みます。

創作5 音階を選んで旋律をつくらう

和楽器を学んだ後に、日本の音階を用いた旋律づくりに取り組みます。

- 和楽器を学んだ後に、日本の音階を用いた旋律づくりに取り組みます。
- 和楽器を学んだ後に、日本の音階を用いた旋律づくりに取り組みます。
- 和楽器を学んだ後に、日本の音階を用いた旋律づくりに取り組みます。
- 和楽器を学んだ後に、日本の音階を用いた旋律づくりに取り組みます。

五線譜を使用しないユニークなアンサンブル作品の楽譜が完成

安歌

桜

(P.74)

(P.78)

直前の和楽器を扱ったページ(P.70～79)には日本の音階を用いた表現教材があるので、旋律づくりに取り組み前にその雰囲気を感知することができます。

(P.80・81)

鑑賞

日本の伝統音楽、世界の諸民族の音楽、西洋音楽の全てに「鑑賞のポイント」を示し、生徒たちが声や楽器の音色の特徴を感じ取ったり、音楽を形づくっている要素に目を向けたりすることができるようにしました。また、ジャンルごとに掲載したオペラ、ジャズ、ロックでは、表現と鑑賞を一体化させた活動を行うことができました。

日本の伝統音楽

それぞれの音楽の特徴を比較することができるよう多目的の伝統音楽を取り上げました。日本音楽の流れを概観できる紙面になっているので、文化的・歴史的背景も学ぶことができます。

貴族社会と武家社会という対照的な時代背景の中で整えられた雅楽と能を鑑賞

日本の伝統音楽

雅楽 (舞楽)

貴族社会と武家社会という対照的な時代背景の中で整えられた雅楽と能を鑑賞

能 (道成寺)

箏曲 (みだれ)

尺八曲 (古今)

江戸時代に生まれた器楽曲を鑑賞

総合芸術である舞楽と能の鑑賞のポイントを提示するにあたり、音源のみで鑑賞する場合を想定した内容も含めています。

世界の諸民族の音楽

「声による表現」と「楽器による表現」という観点から、合わせて20種類の音楽を取り上げました。人々の美意識の多様性に目を向けることができます。

世界の諸民族の音楽

全ての項目に写真が挿入されているので、参考資料としても貴重です。

楽器による表現

声による表現

(P.62・63)

(P.64・65)

実際に歌って表現の特徴を感じ取るための歌唱教材

資料

音楽を学習するうえで必要となる基礎的知識や、教科書中の学習活動をサポートするコーナーを設け、生徒たちの表現と鑑賞の能力が深まり、また興味をもって主体的に学習できるようにしました。多くの生徒たちにとって「音楽を学ぶ」機会が音楽Iで終わってしまうという実情を踏まえ、卒業後も手元に残しておきたいと思える教科書になるよう資料を豊富に取りそろえました。

基礎・基本の力

「ヴォイス・トレーニング」「ソルフェージュ」「楽典」などを取り上げ、音楽の基礎的な能力の定着を図ることができるようにしました。また、「指揮にチャレンジ」では、創意工夫して表現する能力を高めることもできます。

ソルフェージュ

リズム大編

1. 4拍子リズムの練習。拍子とりを繰り返す。

2. 4拍子リズムの練習。拍子とりを繰り返す。

3. 4拍子リズムの練習。拍子とりを繰り返す。

4. 4拍子リズムの練習。拍子とりを繰り返す。

5. 4拍子リズムの練習。拍子とりを繰り返す。

6. 4拍子リズムの練習。拍子とりを繰り返す。

7. 4拍子リズムの練習。拍子とりを繰り返す。

8. 4拍子リズムの練習。拍子とりを繰り返す。

9. 4拍子リズムの練習。拍子とりを繰り返す。

10. 4拍子リズムの練習。拍子とりを繰り返す。

(P.12~13)

メロディー編

1. 4拍子リズムの練習。拍子とりを繰り返す。

2. 4拍子リズムの練習。拍子とりを繰り返す。

3. 4拍子リズムの練習。拍子とりを繰り返す。

4. 4拍子リズムの練習。拍子とりを繰り返す。

5. 4拍子リズムの練習。拍子とりを繰り返す。

6. 4拍子リズムの練習。拍子とりを繰り返す。

7. 4拍子リズムの練習。拍子とりを繰り返す。

8. 4拍子リズムの練習。拍子とりを繰り返す。

9. 4拍子リズムの練習。拍子とりを繰り返す。

10. 4拍子リズムの練習。拍子とりを繰り返す。

(P.121)

指揮にチャレンジ

指揮は、音楽の表現を豊かにし、演奏者を導く重要な役割を果たします。指揮者の役割は、楽譜の解釈、演奏者の感情を導くこと、そして演奏の統一性を保つことです。

1. 指揮棒の持ち方

2. 指揮棒の動き

3. 指揮者の表情

4. 指揮者の姿勢

5. 指揮者の呼吸

6. 指揮者の視線

7. 指揮者の声

8. 指揮者の足

9. 指揮者の手

10. 指揮者の顔

(P.144~147)

歴史

「日本音楽の流れ」「西洋音楽の流れ」を簡潔にまとめて示し、鑑賞する際にも歴史的背景を知ることができるようにしました。また、「郷土の民謡と芸能」「日本の歌謡曲～J-POPの歴史」においても、その歴史や背景を知って親しむことができるようにしました。

(P.107~109)

(P.114~115)

日本音楽の流れ

日本音楽は、古くから独自の発展を遂げてきました。和歌、民謡、尺八、三味線、邦楽など、多岐にわたる音楽文化があります。

西洋音楽の流れ

西洋音楽は、ヨーロッパを中心に発展してきました。クラシック、ジャズ、ロック、ポップスなど、多岐にわたる音楽文化があります。

郷土の民謡と芸能

日本各地には、独自の民謡と芸能があります。民謡は、生活の喜びや悲しみを表現する歌謡です。芸能は、舞踊、音楽、演劇など、総合的な芸術です。

(P.126~129)

日本の歌謡曲～J-POPの歴史

日本の歌謡曲は、戦後から発展してきました。1940年代、1950年代、1960年代、1970年代、1980年代、1990年代、2000年代と、時代ごとに特徴的な音楽文化が生まれました。

年代	代表曲	歌手
1940年代	「愛のうた」	日守新一
1950年代	「涙のうた」	日守新一
1960年代	「青春のうた」	日守新一
1970年代	「希望のうた」	日守新一
1980年代	「夢のうた」	日守新一
1990年代	「愛のうた」	日守新一
2000年代	「希望のうた」	日守新一

(P.104~105)

音楽の楽しみ

生涯にわたって音楽への愛好心を育むことができるように、さまざまな音楽に接する際の切り口を多様な観点から示しました。

MUSIC DANCE

音楽とダンスは、表現の手段として、人々の心を魅了してきました。ジャズ、ロック、ポップスなど、さまざまな音楽ジャンルには、それぞれの特徴的なダンススタイルがあります。

(口絵v)

演奏会や観劇に行こう

演奏会や観劇は、音楽を鑑賞する素晴らしい機会です。演奏会では、指揮者の指揮のもと、オーケストラが美しい音楽を奏でます。観劇では、俳優たちの演技を通じて、物語の世界に入り込むことができます。

(P.51)

オペラ・アリアの楽しみ

オペラ・アリアは、オペラの中でも特に美しい部分です。歌姫たちの歌声は、人々の心を魅了し、涙を誘います。オペラ・アリアを楽しむには、歌詞の意味を理解し、歌姫の感情に共感することが大切です。

(P.55)

その他のテキスト

表現や鑑賞と一体化しているページを含め、これまで紹介した資料の他にも、教科書中の学習活動をサポートするとともに生涯のテキストとしても活用できる資料を豊富に取りそろえました。

(P.148~149)

コードの覚え方

コードの覚え方は、楽譜を演奏する上で重要なスキルです。コードの種類や構成を理解し、正確に演奏できるように練習することが大切です。

ギター・キーボードコード表

コード	ギター	キーボード
C
D
E
F
G
A
B

西洋音楽史 作曲家の年表と主な作品

作曲家	主な作品
モーツァルト	「魔笛」
ベートーヴェン	「交響曲第9番」
ショパン	「夜曲」
リスト	「練習曲」
ワーグナー	「ワルキューレ」
ブラームス	「交響曲第1番」
ドビュッシー	「牧神の笛」
Debussy	「牧神の笛」
Ravel	「ボレロ」
Prokofiev	「交響曲第2番」
Shostakovich	「交響曲第7番」
Tchaikovsky	「胡桃夹子」
Bach	「平均律クラヴィーア曲集」
Bethoven	「交響曲第5番」
Mozart	「魔笛」
Haydn	「交響曲第94番」
Handel	「メサイア」
Vivaldi	「四季」
Corelli	「チェロ協奏曲」
Monteverdi	「オラトリオ」
Scarlatti	「ソナタ」
Corelli	「チェロ協奏曲」
Vivaldi	「四季」
Corelli	「チェロ協奏曲」
Vivaldi	「四季」

(P.152~153)

舞台芸術

舞台芸術は、音楽、ダンス、演劇など、さまざまな芸術形式を統合した表現形式です。舞台芸術を通じて、人々の心を魅了し、感動を分かち合えることができます。

(P.48-49)

多くの音楽家が生きた「Heidenzollern」

Heidenzollernは、多くの音楽家が生きた場所です。ここでは、音楽の歴史や文化について詳しく学び、鑑賞することができます。

(P.57)

能

能は、日本の伝統的な演劇形式です。能楽師たちは、美しい衣装と仮面を着用し、物語の世界に入り込んで表現します。

(P.106)

西條八十と歌謡曲

西條八十は、日本の歌謡曲界の巨匠です。彼の作品は、多くの人々の心を魅了し、涙を誘いました。

(P.110)

コードの覚え方

コードの覚え方は、楽譜を演奏する上で重要なスキルです。コードの種類や構成を理解し、正確に演奏できるように練習することが大切です。

(P.150-151)

国立能楽堂

国立能楽堂は、日本の伝統的な演劇形式「能」を上演する場所です。ここでは、美しい衣装と仮面を着用した能楽師たちの演技を鑑賞することができます。

(口絵iii~iv)

パリ・オペラ座 (ガルニエ館)

パリ・オペラ座は、フランスの代表的なオペラ座です。ここでは、美しい衣装と仮面を着用したオペラ歌手たちの演技を鑑賞することができます。

(口絵iii~iv)

年間指導計画例

芸術科の目標		芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。										科目の目標		音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。																
学習指導要領(抜粋)	内容		(3) 創作										内容の取扱い		(6) 内容のBの指導に当たっては、楽曲や演奏について根拠をもって批評する活動などを取り入れるようにする。															
	A 表現		ア 音階を選んで旋律をつくり、その旋律に副次的な旋律や和音などを付けて、イメージをもって音楽をつくること。										(1) 内容のA及びBの指導に当たっては、中学校音楽科との関連を十分に考慮し、それぞれ特定の活動のみに偏らないようにするとともに、A及びB相互の関連を図るものとする。		(7) 内容のA及びBの教材については、地域や学校の実態等を考慮し、我が国や郷土の伝統音楽を含む我が国及び諸外国の様々な音楽から幅広く扱うようにする。また、Bの教材については、アジア地域の諸民族の音楽を含めて扱うようにする。															
	表現に関して、次の事項を指導する。		イ 音楽材の特徴を生かし、反復、変化、対照などの構成を工夫して、イメージをもって音楽をつくること。										(2) 生徒の特性等を考慮し、内容のAの(3)のア、イ又はウのうち一つ以上を選択して扱うことができる。		(8) 音や音楽と生活や社会とのかかわりを考えさせ、音環境への関心を高めるよう配慮するものとする。また、音楽に関する知的財産権などについて配慮し、著作物等を尊重する態度の形成を図るようにする。															
(1) 歌唱		ウ 音楽を形づくっている要素を感覚し、それらの働きを感受して歌うこと。										(3) 内容のAの指導に当たっては、生徒の特性等を考慮し、視唱と視奏及び読譜と記譜の指導を含めるものとする。																		
(2) 器楽		エ 音楽を形づくっている要素を感覚し、それらの働きを感受して歌うこと。										(4) 内容のAの指導に当たっては、我が国の伝統的な歌唱及び和楽器を含めて扱うようにする。また、内容のBのエとの関連を図るよう配慮するものとする。																		
ア 曲想を楽曲の背景とかかわらせて感じ取り、イメージをもって演奏すること。		ア 声や楽器の音色の特徴と表現上の効果とのかかわりを感じ取って鑑賞すること。										(5) 内容のAの(3)の指導に当たっては、即興的に音を出しながら音のつながり方を試すなど、音を音楽へと構成することを重視するとともに、作品を記録する方法を工夫させるものとする。																		
イ 楽器の音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏すること。		イ 音楽を形づくっている要素を感覚し、それらの働きを感受して鑑賞すること。																												
ウ 様々な表現形態による器楽の特徴を生かし、表現を工夫して演奏すること。		ウ 楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲家及び演奏者による表現の特徴を理解して鑑賞すること。																												
エ 音楽を形づくっている要素を感覚し、それらの働きを感受して演奏すること。		エ 我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解して鑑賞すること。																												
月	領域(分野)/配当時間	題材名	題材のねらい	学習指導要領 内容の指導事項										主な教材	題材の指導内容と学習活動															
				A表現					B鑑賞						音楽を形づくっている要素	内容の取扱い	主な指導内容	主な学習活動												
				歌	唱	器	楽	創	作	B	鑑	賞	音						色	を	形	づ	く	っ	て	い	る	内	容	の
ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ			
4 5 6 7	表現(歌唱)/6時間	正しい発声法を身に付けよう	姿勢や呼吸法、発声法に気を付けて、楽曲の特徴を感じ取り、イメージをもって歌う	●	●	●	●																					校歌/ Ave Maria /翼をください/少年時代/夏の思い出/虫のこえ/小さな空/冬景色	・姿勢や身体の使い方, 呼吸法, 発声法など ・曲想と歌詞の内容とのかかわり ・声の音色や強弱, 旋律の特徴などを生かした表現	・姿勢や身体の使い方, 呼吸法, 発声法などに気を付けて歌う ・曲想と歌詞の内容とのかかわりを感じ取る ・自分なりのイメージをもって, 声の音色や強弱, 旋律の特徴などを生かして歌う
	表現(器楽)/2時間	ポディー・パーカッションに挑戦しよう	音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫してアンサンブルの喜びを味わう				●	●	●	●																	Plymouth Rock ソルフェージュ	・ポディー・パーカッションの音色の工夫 ・アンサンブルにおける自分の役割にふさわしい表現方法	・ポディー・パーカッションの音色を工夫しながら演奏する ・共通のイメージをもって, アンサンブルにふさわしい表現を心がける	
	表現(器楽)/4時間	表現を工夫してリコーダーを演奏しよう	リコーダーの音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏する				●	●	●	●																	見上げてごらん夜の星を/C-a-f-f-e-e/ボレロ/ザナルカンドにて/Now Is The Month Of Maying	・リコーダーの音色や奏法の特徴 ・音色, リズム, 旋律, 強弱など, 音楽を形づくっている要素の知覚と, それらの働きの感受	・リコーダーの特徴を理解し, 基礎的な奏法を身に付け, 音色や奏法の特徴を生かして演奏する ・音色, リズム, 旋律, 強弱など, 音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解し, 表現を工夫して演奏する	
	表現(歌唱), 鑑賞/8時間	ミュージカル・ナンバーを歌おう	あらすじや物語の背景, 歌詞の内容, 登場人物の心情などを理解し, 楽曲に合うように表現を工夫する	●	●	●	●							●	●	●											歌唱:レット・イット・ゴー〜ありのまま/ Memory / Oh Happy Day 鑑賞:映画『アナと雪の女王』/ミュージカル『キャッツ』/映画『天使にラブ・ソングを2』	・曲想と歌詞の内容や楽曲の背景とのかかわり ・楽曲に対するイメージをもつことと表現の工夫 ・ミュージカルや映画などの鑑賞を通した, 音楽の多様性やそのよさの理解	・曲想と歌詞の内容や楽曲の背景がどのようにかかわっているかを感じ取る ・自分なりのイメージをもち, 楽曲に合うように表現を工夫する ・音楽的な要素とそれ以外の要素がどのようにかかわり合っているかを感じ取る	
	鑑賞/6時間	音色の特徴と表現上の効果とのかかわりを感じ取る	声や様々な楽器によって生み出される響きを聴くとともに, 文化的・歴史的背景や作曲家及び演奏者による表現の特徴を理解し, 意見交換などを通してより深く学ぶ											●	●	●												組曲(動物の謝肉祭)/バレエ音楽(ボレロ)/交響曲第9番《合唱付き》/ピアノによるさまざまな表現効果を聴き取ろう/<くら>(武満徹 編曲)/モーツァルトの生涯と作品をたどろう	・声や様々な楽器の音色の特徴と表現上の効果とのかかわり ・音楽を形づくっている要素の知覚と, それらの働きの感受 ・楽曲の文化的・歴史的背景や, 作曲家及び演奏者による表現の特徴	・楽曲の鑑賞を通して, 声や様々な楽器の音色の特徴と表現上の効果とのかかわりを感じ取る ・音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解する ・楽曲の文化的・歴史的背景や, 作曲家及び演奏者による表現の特徴を理解する ・鑑賞した後に, 感じ取ったことなどをまとめて発表し合い, 理解を深める
9 10 11 12	表現(歌唱)/4時間	表現を工夫して合唱をしよう	各パートの役割を意識し、表現を工夫して合唱の喜びを味わう	●	●	●	●																				花/見上げてごらん夜の星を/故郷/荒野の果てに	・各パートの音の重なり方や全体の調和 ・楽曲にふさわしい表現方法	・一人一人が主体的, 積極的に歌い, 各パートの役割やハーモニーを意識して合唱の喜びを味わう ・共通のイメージをもって, 楽曲にふさわしい表現を心がける	
	表現(歌唱, 器楽)/6時間	表現を工夫してギターを演奏しよう	ギターの音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏するとともに、歌いながら弾けるようにする	●	●	●	●	●	●	●	●																第三の男のテーマ/なごり雪/デイ・ドリーム・ビリーバー	・ギターの音色や奏法の特徴 ・音色, リズム, 旋律, 強弱など, 音楽を形づくっている要素の知覚とそれらの働きの感受	・ギターの音色や奏法の特徴を生かして演奏する ・音色, リズム, 旋律, 強弱など, 音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解し, 表現を工夫して演奏する	
	表現(歌唱), 鑑賞/8時間	日本や外国の歌曲に親しみ、独唱に挑戦しよう	曲想を感じ取り、発声やフレーズなどを工夫しながら、独唱にふさわしい表現をする 楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲家及び演奏者による表現の特徴を理解する	●	●	●	●							●	●	●											歌唱:ソルフェージュ/Caro mio ben/ハバネラ/闘牛士の歌/Heidenröslein (ヴェルナー, シューベルト)/Ich liebe dich /むこうむこう/この道 鑑賞:オペラ(カルメン)/オペラ(フィガロの結婚)/舞台芸術(P.48)	・姿勢や身体の使い方, 呼吸法, 発声法など ・曲想と歌詞の内容や楽曲の背景とのかかわり ・歌と伴奏それぞれの役割 ・楽曲の文化的・歴史的背景や, 作曲家及び演奏者による表現の特徴 ・声や楽器の音色の特徴と表現上の効果とのかかわり	・姿勢や身体の使い方, 呼吸法, 発声法などに気を付けて歌う ・曲想と歌詞の内容や楽曲の背景がどのようにかかわっているかを感じ取る ・歌と伴奏それぞれの役割をよく理解して独唱する ・楽曲の文化的・歴史的背景や, 作曲家及び演奏者による表現の特徴を理解する ・演奏者による表現の違いなどについて, 鑑賞後に批評文を書いたり感想を述べ合ったりする	
	表現(器楽, 創作), 鑑賞/6時間	和楽器に親しみ、音階を選んで旋律をつくらう	和楽器の音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏したり、日本の伝統音楽を鑑賞したりする つくりたい曲のイメージに合った音階を選んで旋律をつくる				●	●	●	●	●			●	●	●	●									器楽:太鼓/篠笛/三線/三味線/箏から適宜選曲 創作:音階を選んで旋律をつくらう 鑑賞:箏曲(みだれ)/尺八曲(鹿の遠音)	・和楽器の音色や奏法の特徴 ・音階の特徴を生かした旋律の創作 ・日本の伝統音楽における楽器の音色の特徴と表現上の効果とのかかわり	・和楽器の音色や奏法の特徴を生かして演奏する ・音階による雰囲気の違いを感じ取り, つくりたい曲のイメージに合った旋律をつくる ・日本の伝統音楽における楽器の音色の特徴と表現上の効果とのかかわりを感じ取り, 鑑賞後に批評文を書いたり感想を述べ合ったりする		
	表現(歌唱), 鑑賞/4時間	能や謡に親しもう	能の表現の特徴や文化的・歴史的背景を理解し、表現を工夫して謡う	●	●	●	●							●	●	●	●										歌唱:謡に親しもう 鑑賞:能(道成寺)/舞台芸術(P.48)	・謡の発声や歌唱法の特徴を生かした表現 ・能の表現の特徴や文化的・歴史的背景	・謡の発声や歌唱法について学習し, 表現を工夫して謡う ・能の表現の特徴や文化的・歴史的背景を理解し, そのよさや美しさなどを味わって鑑賞する	
表現(歌唱, 創作)/2時間	発音や発声などを工夫して声によるアンサンブルをつくらう	オノマトペのもつリズム感やアクセントを生かしてアンサンブルをつくり、表現を工夫して演奏する				●	●					●	●													オノマトペでリズムをつくらう/オノマトペでアンサンブルをつくらう	・オノマトペのもつリズム感やアクセントの特徴を生かしたアンサンブルの創作 ・アンサンブルにおける自分の役割にふさわしい表現方法	・オノマトペのもつリズム感やアクセントの特徴を生かし, パートの組み合わせ方などを工夫してグループによるアンサンブルをつくる ・共通のイメージをもって, アンサンブルにふさわしい表現を心がける		
1 2 3	表現(歌唱)/4時間	表現を工夫して合唱やアンサンブルをしよう	各パートの役割を意識し、表現を工夫して合唱やアンサンブルの喜びを味わう	●	●	●	●																				序曲/サザエさん/ Oh Happy Day / 願い/ぼくはぼく/夢みたものは……/ Now Is The Month Of Maying	・各パートの音の重なり方や全体の調和 ・楽曲にふさわしい表現方法	・一人一人が主体的, 積極的に歌い, 各パートの役割やハーモニーを意識して合唱やアンサンブルの喜びを味わう ・共通のイメージをもって, 楽曲にふさわしい表現を心がける	
	表現(器楽), 鑑賞/6時間	サンバやジャズに親しもう	サンバやジャズの特徴を感じ取り、楽曲を演奏する ジャズの文化的・歴史的背景や、演奏者による表現の特徴を理解する				●	●	●	●				●	●	●										器楽: Brazil / 枯葉 鑑賞: 枯葉	・サンバやジャズを形づくっている要素及び奏法の知覚と感受 ・各パートの音の重なり方や全体の調和 ・ジャズの文化的・歴史的背景や, 演奏者による表現の特徴	・リズムや強弱など, サンバやジャズを形づくっている要素及び奏法について理解する ・一人一人が主体的, 積極的に演奏し, 各パートの役割やハーモニーを意識してアンサンブルの喜びを味わう ・ジャズの文化的・歴史的背景や演奏者による表現の特徴を理解し, そのよさや美しさなどを味わって鑑賞する		
	表現(歌唱), 鑑賞/4時間	世界の諸民族の音楽に親しもう	世界の諸民族の音楽における声や楽器の音色の特徴をとらえ、多様な表現による音楽美を感じ取って鑑賞する	●	●	●	●							●	●	●											歌唱:京畿道アリラン/ホルディリア 鑑賞:世界の諸民族の音楽(P.62~65)に掲載されている音楽など	・楽曲の特徴を生かした歌唱表現 ・それぞれの国や地域の音楽の特徴, 曲想と音楽を形づくっている要素とのかかわり, 文化的・歴史的背景 ・それぞれの国や地域の音楽の多様な表現による音楽美の感受	・アリランとヨーデルの声の音色, リズム, 旋律などの特徴を感じ取り, 曲に合うように歌声を工夫する ・それぞれの国や地域の音楽の特徴, 曲想と音楽を形づくっている要素とのかかわり, 文化的・歴史的背景を理解して鑑賞する ・それぞれの国や地域の音楽の共通点や相違点に着目し, 多様な表現による音楽美について感想を述べ合う	

【指導書の構成】

研究資料編

年間指導計画例とそれに対応した題材ごとの評価規準例、学習指導案例などを複数掲載しています。授業を多角的にサポートする資料を掲載しています。ソルフェージュの補充教材を掲載しています。音楽史や楽典などに関するEXERCISEを掲載しています。

◆指導のポイントと楽曲解説をまとめた紙面

指導のポイント

- 「Ich liebe dich」は選訳すると「私はあなたを愛す」だが、詩は「私たち2人を守り支えてください」と神に祈る内容である。厳かに温かい気持ちで歌う。
- 3～4小節は1～2小節より1音上っており、情緒の緩やかな高まりを感じながら歌う。
- 29～31小節では、音高や和音の変化を感じるとともに、30～31小節の音高が拡大されていることに注目し、新しい気持ちの高まりを表現して歌う。
- 原曲で歌う場合は、朗読やリズム感の練習をし、滑らかに発音できるようにしてから歌う。
- 原曲歌詞についているカタカナはガイド的なもので、資料のCD（指導用CD）トラック①の朗読や歌唱を参考にする。

楽曲について

1795年頃に作曲され、1803年に出版された。ベートーヴェンの歌曲の中でもよく親しまれており、その旋律はシンプルで素朴ながらも優しい親しみあふれている。ヘーゼの訳詩は3節あったが、ベートーヴェンは第2節から作曲している。原題は(Zärtliche Liebe 優しい愛)。

作曲について

1795年頃に作曲され、1803年に出版された。ベートーヴェンの歌曲の中でもよく親しまれており、その旋律はシンプルで素朴ながらも優しい親しみあふれている。ヘーゼの訳詩は3節あったが、ベートーヴェンは第2節から作曲している。原題は(Zärtliche Liebe 優しい愛)。

※紙面はサンプルです。文章やデザインは変更になる場合があります。

楽譜資料編

歌唱教材の伴奏譜の他、移調譜や別の編曲なども随時取り上げ、指導の便宜を図っています。

指導用CD

歌唱と器楽教材の模範演奏、カラピアノ、合唱曲のパート別演奏(一部)などを収録しています。また、イタリア歌曲とドイツ歌曲は原語歌詞の朗読も収録しています。

鑑賞用CD

厳選した鑑賞教材(一部)を収録しています。

検討の観点別に見た特色

	観点	教科書の特色
範囲	●取り扱う内容の範囲は、学習指導要領の目標及び内容によっているか。	●多様なジャンルから精選された教材によって必要な内容が十分に扱われており、音楽科の目標を達成するという観点から極めて適切なものとなっている。
	●教材は生徒の心身の発達段階や生徒の能力の実態に適切しているか。	●歌唱教材においては、生徒の心情的な発達段階に応じた楽曲が取り上げられている。器楽教材においては、各学校の実態や生徒の習熟度に応じた楽曲が取り上げられている。また、鑑賞教材についても同様の扱いがなされている。
程度	●「音楽を形づくっている要素」が学習を進めるうえで適切に扱われているか。	●表現及び鑑賞に共通する指導内容として「音楽を形づくっている要素」に関する学習が示されており、その考え方の具体的なヒントとなる「音楽を鑑賞する際に」が掲載されている。
	●教材の選択及び扱いは、学習指導を進めるうえで適切であるか。 ●基礎的・基本的な内容を学習するうえで適切であるか。	●幅広く変化に富んだ学習活動を行うことのできる教材が用意されており、生徒が興味・関心をもって意欲的に学習を進めることができるよう配慮されている。 ●教材の内容に関連して、基礎的・基本的な内容を学習できる参考資料が掲載されている。また、ページ間にリンクが張られており、確実に学習活動を進められるよう配慮されている。 ●楽曲中の音楽用語の意味やリコーダーの派生音の運指が同一ページに表示されており、学習効率が上がるよう工夫されている。
内容	●説明文やイラスト、写真などは、学習を進めるうえで適切であるか。	●説明文は平易な文章で書かれており、その配置も工夫されている。 ●イラスト、写真の取り上げ方もアイディアにあふれ、音楽的感性を育成しながら知的理解を深められるよう配慮されている。
	●生徒が興味・関心をもって、主体的・創造的な学習活動に取り組めるよう工夫されているか。 ●我が国の音楽や音楽文化に対する配慮がなされているか。	●生徒が自ら主体的に学習活動を進められるように、各教材に学習内容や活動のポイントが明確に示されている。 ●創作の活動においては、生徒の能力に応じて創造的に進められるよう配慮されている。 ●鑑賞の活動においては、日本独自の文化の中で育まれてきた音楽の特徴を感じ取ることができるよう配慮されている。器楽の活動においては、各学校の実態に応じて取り組めるよう5種類の和楽器が取り上げられている。また、音楽的側面からだけでなく、文化的側面からも捉えられるよう配慮されている。
構成	●小学校、中学校における学習内容との系統性、一貫性について配慮されているか。 ●各学校や生徒の実態に応じた学習指導計画を立てられるよう配慮がなされているか。	●小学校、中学校の義務教育における音楽科の目標の上に立った内容の教科書となっている。 ●歌い継いでいきたい日本の歌を「心の歌」と題して小学校、中学校から一貫して取り上げており、日本の歌に対する配慮がなされている。 ●各教材に示された学習内容や活動のポイント、歌唱・器楽の「ジャンル別MAP」などにより、各学校や生徒の実態に応じた学習指導計画を立てられるよう配慮されている。 ●表現教材と鑑賞教材の関連が図られており、分野を通じた題材設定がしやすいよう配慮されている。
	●教材の配列は適切であるか。	●学習指導要領の内容に即した教材が配列されている。 ●表現教材と鑑賞教材の関連が図られており、さらにページ間に張られたリンクによって、理解を深めたり関連付けたりできるよう随所に工夫がなされている。
人権	●教材の分量は適切であるか。	●豊富な分量が扱われており、各学校や生徒の実態に応じて柔軟な対応ができるよう配慮されている。
	●人権教育、国際理解、情報、環境などに配慮されているか。	●全体を通して、人権教育に対する適切な配慮がなされている。また、諸外国の文化に対する理解を深めることができるという点についても配慮がなされている。 ●音楽に関する知的財産権について「ルールを守って音楽を楽しもう」が掲載されており、生徒にとって分かりやすく説明されている。
体裁	●全体の体裁は教科書として適切であるか。	●A4変型判で楽譜が見やすく、紙面のレイアウトも統一感があり、教科書として適切なものとなっている。
	●印刷、製本などは適切であるか。	●表紙や扉からも音楽に対するメッセージが感じられる体裁となっている。 ●全ページにわたって美しいカラー刷りとなっており、楽譜、文字、イラスト、写真などが鮮明に印刷されている。 ●製本は長期の使用に十分耐える堅牢なものとなっている。 ●再生紙を使用し、リサイクル可能な表紙加工を施すなど、環境に十分な配慮がなされている。
	●ユニバーサルデザインへの配慮がなされているか。	●全体に区別しやすい配色を用いながら必要に応じて形状や濃度を違えるなど、確実に識別できるよう配慮されている。

別売準拠DVDについて

教科書に掲載されている「世界の諸民族の音楽」の授業展開を強力にサポートするDVDを販売しています。「日本の伝統芸能編」は日本音楽史の授業に最適です。

民族編

- DVD1枚／収録時間146分
- 定価(18,000円+消費税)
- 38カ国, 全59曲を収録
- 民族音楽研究家、江波戸昭先生の解説付き

日本の伝統芸能編

- DVD1枚／収録時間126分
- 定価(18,000円+消費税)
- 日本を代表する伝統芸能(雅楽, 琵琶楽, 能楽, 文楽, 歌舞伎)の成り立ちと魅力を, 映像を通して紹介
- 鑑賞演目は副音声解説付き



第1表

高等学校用教科書需要票

見本

発行者	番号	27	略称	教芸	需要数	生徒用	150	冊
						教員用	2	冊
教科書	記号	音I	番号	310		計	152	冊
	書名	MOUSA1						

所在地

学校名

電話

(全日制・定時制・通信制)



株式会社 **教育芸術社**

●本社 〒171-0051 東京都豊島区長崎 1-12-15 TEL.03-3957-1175(代)

●中部支社 〒460-0024 名古屋市中区正木 4-8-7 れんが橋ビル 8F TEL.052-678-3151(代)

●関西支社 〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央 1-14-17-601 TEL.06-6943-7245(代)

●西部支社 〒751-0808 下関市一の宮本町 2-7-14 TEL.083-256-4747(代)

ホームページ <http://www.kyogei.co.jp/>

※環境に配慮した紙を使用しています。